

1-1 子育て支援の充実

事業費 62億7,718万円

財源	国のお金	24億8,172万円	施策実現のための事業費	子どものための教育・保育給付費	30億8,074万円
	県のお金	13億2,842万円		児童手当給付費	9億3,436万円
	市の借金	1,940万円		福祉医療費	7億6,328万円
	その他	1億4,983万円		児童扶養手当給付費	3億5,612万円
	市のお金	22億9,781万円		その他	11億4,268万円

すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっていることを目指します

主な事業

◆若者出会い・結婚生活応援事業(1,070万円)

【若者交流事業】

独身男女の出会いの機会創出のため、出会いイベントの開催などに要する経費を補助します。また、あきた結婚支援センターに入会する際の入会登録料を負担します。

【結婚新生活支援事業】

夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下で、一定の所得要件を満たす新たに婚姻した夫婦を対象に、婚姻に伴う引越越し費用や住宅賃借費用などを補助します。

◆福祉医療給付費(7億3,371万円)

乳幼児及び小中学生等の医療費の自己負担分を助成します。8月からは高校生世代も対象とします。

◆多子世帯応援事業(1,500万円)

第3子以降の子がいる世帯の第2子以降及び多胎児の保育料を全額助成します。

◆不妊治療費助成事業(1,114万円)

不妊治療費用を助成し、不妊に悩む夫婦の経済的・精神的負担の軽減を図ります。今年度は助成割合と上限額を引き上げるなどの拡充を行っています。

◆出産・子育て応援交付金事業(9,533万円)

妊娠期から出産・子育てまで身近で相談に応じる伴走型相談支援と経済的支援(妊娠届出時5万円、出生届出時7万円)を一体で実施します。



1-2 健康な心と体づくりの推進

事業費 38億7,002万円

財源	国のお金	1億 250万円	施策実現のための事業費	後期高齢者医療制度費	14億5,067万円
	県のお金	5億8,171万円		病院事業費	8億4,066万円
	市の借金			国民健康保険特別会計繰出金	8億3,058万円
	その他	1億7,412万円		予防接種事業	2億9,646万円
	市のお金	30億1,169万円		その他	4億5,165万円

市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えていることを目指します

主な事業

◆保健衛生総務管理費(1,065万円)

がん患者の医療用補正具購入費の一部を助成するほか、18歳以上で身体障害者手帳の交付対象にならない軽度・中等程度難聴者の補聴器購入費の一部を助成します。

◆予防接種総務費(2億9,646万円)

予防接種法に基づく定期予防接種を行い、感染、発病、重症化、感染症まん延の防止を図ります。今年度は、子宮頸がんの9価ワクチンの接種費用も計上し拡充しています。

◆がん検診事業(1億4,341万円)

各種がん検診事業を実施し、早期発見、早期治療に結び付け、疾病の予防を図ります。

◆健康よこて21計画推進費(183万円)

第2期健康よこて計画の最終評価における基礎資料とするため、アンケート調査を実施します。

1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進 事業費 27億5,213万円

財源	国のお金	8,275万円	施策実現のための事業費	介護保険特別会計繰出金	19億9,983万円
	県のお金	4,567万円		高齢者福祉施設入所措置費	3億2,068万円
	市の借金			市営介護サービス事業特別会計繰出金	2億8,199万円
	その他	6,252万円		日常生活支援事業	7,374万円
	市のお金	25億6,119万円		その他	7,589万円

横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深め、ともに支えあい、助けあう地域社会が形成されていることを目指します

主な事業

- ◆交通助成券交付事業(2,640万円)
乗用車のない世帯の75歳以上の高齢者へ市内の公共交通機関で利用出来る交通助成券を交付します。
- ◆見守り安心事業(906万円)
心身に不安のある高齢者等の見守りのために自宅トイレにセンサー付きのLED電球を設置し、一定の時間点灯と消灯が確認出来なかった場合、緊急時の連絡先に連絡します。必要に応じて、自宅を訪問し、状況を確認します。

見守り安心事業のイメージ図



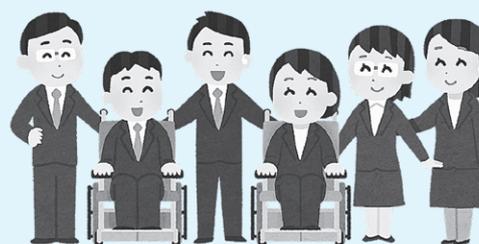
1-4 障がい者(児)福祉の充実 事業費 25億8,790万円

財源	国のお金	12億8,268万円	施策実現のための事業費	自立支援給付費	23億2,264万円
	県のお金	6億2,126万円		自立支援医療費給付事業	7,417万円
	市の借金			特別障がい者手当等給付事業	6,800万円
	その他	14万円		地域生活支援事業費	7,235万円
	市のお金	6億8,382万円		その他	5,074万円

障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしていることを目指します

主な事業

- ◆地域生活支援事業費(7,235万円)
障がいのある方が自立した日常生活や社会参加ができるよう、利用者の状況に応じた柔軟なサービスの提供や障がいへの理解啓発、ボランティア活動の支援を行います。
- ◆自立支援医療費給付事業(7,417万円)
身体障害者手帳の交付を受けた方が、手術等の治療を受けることにより身体の障がい除去・軽減され、日常生活が容易にできるよう医療費の一部を公費により負担します。



1-5 低所得者福祉の充実

事業費 12億1,011万円

財源	国のお金	8億 875万円	施策実現のための事業費	一般扶助費	9億8,595万円
	県のお金	1,000万円		公営住宅管理費	1億1,668万円
	市の借金			公営住宅整備費	1,034万円
	その他	9,378万円		施設事務費	4,691万円
	市のお金	2億9,758万円		その他	5,023万円

住宅の確保が困難になるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確認して、いきいきと暮らすことができていることを目指します

主な事業

◆生活困窮者自立促進支援事業(2,256万円)

生活困窮者の社会的・経済的な自立に向けて、相談対応や住居確保給付金支給など様々なサービスを包括的に提供します。



1-6 福祉を支える人材の確保と育成

事業費 1億7,310万円

財源	国のお金		施策実現のための事業費	総務関係費	1億2,576万円
	県のお金	2,040万円		民生委員児童委員費	3,397万円
	市の借金			長寿祝金支給事業	628万円
	その他	42万円		地域福祉計画等策定事業	351万円
	市のお金	1億5,228万円		その他	358万円

地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増え、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われていることを目指します

主な事業

◆地域福祉推進事業委託経費(9,000万円)

誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して、様々な地域福祉活動を推進します。

横手市社会福祉協議会が進める地域福祉活動

地域福祉活動推進事業、ボランティア活動推進事業、生活相談事業、社協活動啓発事業、福祉団体支援事業、福祉のまちづくり事業、福祉教育活動推進事業、共同募金運動推進事業、生活困窮者自立相談支援事業、障害者地域生活支援事業、地域包括支援センターランチ事業、生活支援体制整備事業、生活福祉資金貸付事務事業、福祉サービス利用援助事業の14事業



地域交流活動のお手伝いの様子

2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 事業費 2億9,489万円

財源	国のお金	495万円	施策実現のための事業費	学校生活サポート事業	8,810万円
	県のお金	595万円		外国語教育・国際理解教育推進事業	5,357万円
	市の借金			学校保健管理事業	4,023万円
	その他	2,722万円		奨学金貸付事業	1,839万円
	市のお金	2億5,677万円		その他	9,460万円

ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長していることを目指します

主な事業

◆外国語指導助手招へい事業(5,357万円)

11名の外国語指導助手(A L T)を小・中学校に派遣し、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の素地・基礎を育成します。また、A L Tとの授業や生活を通して、異文化理解を促進し、多様な人々と豊かに共生・協働できる児童生徒の育成を推進します。

◆教育相談・不登校適応指導教室事業(948万円)

不登校適応指導教室として、醍醐公民館内に「南かがやき教室」、大雄農業団地センター内に「西かがやき教室」を設置し、教育相談員、専門指導員、教育相談支援員が勤務しています。電話相談やカウンセリングを通して、児童生徒や保護者の不安や心配事を聞き取り、学校及び関係諸機関と連携しながら、個々の状況に応じた関わりや働きかけをします。

◆「横手を学ぶ郷土学」推進事業(224万円)

横手市の歴史・伝統・文化を象徴する市内の民俗行事について、デジタル映像作成を行い、行事の記録保存を行います。作成した映像は、市内小中学校の社会科学学習や総合学習等で使用します。



映像化し教材となる
霜月神楽

2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備 事業費 20億9,461万円

財源	国のお金	2,145万円	施策実現のための事業費	学校給食事業	5億 427万円
	県のお金			小中学校照明LED化事業	7,125万円
	市の借金	5億4,090万円		小学校長寿命化対策事業	3億9,506万円
	その他	3億2,630万円		スクールバス運行事業	1億7,507万円
	市のお金	12億 596万円		その他	9億4,896万円

児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されていることを目指します

主な事業

◆小中学校照明LED化事業(7,125万円)

市内小中学校の体育館の照明をLED化します。

◆小学校長寿命化対策事業(3億9,506万円)

児童が安全・安心な環境で教育を受けられるように施設環境の充実を図るため改修工事を行います。



2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 事業費 5億5,090万円

財源	国のお金		施策実現のための事業費	屋外体育施設費	3億2,530万円
	県のお金			屋内体育施設費	1億3,202万円
	市の借金	2億3,510万円		体育施設総務費	6,000万円
	その他	1,268万円		スポーツ振興総務費	1,018万円
	市のお金	3億 312万円		その他	2,340万円

市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っていることを目指します

主な事業

◆スポーツ振興総務費(691万円)

スポーツを通じ市民の健康増進や元気なまちづくり、郷土意識の醸成を図ります。また、スポーツ立市10周年を記念した事業を実施します。

◆屋外体育施設費(3億2,530万円)

- 横手市唯一のスキー場として、天下森スキー場の整備を行い、利用者の利便性向上と冬期間の運動促進を図りつつ、年間を通じて誰もが利用可能なレジャー空間を創出します。
- 令和7年度に予定されている天皇賜杯全日本軟式野球大会開催に向け、各球場の老朽箇所、不具合箇所を改修し整備します。



更新予定の天下森スキー場ヒュッテ グリーンスタジアムよこてスコアボード

2-4 心を豊かにする生涯学習の推進 事業費 4億4,129万円

財源	国のお金	200万円	施策実現のための事業費	増田まんが美術館費	1億2,084万円
	県のお金	228万円		図書館費	1億5,371万円
	市の借金			横手駅東口新公益施設整備事業	1,516万円
	その他	850万円		横手駅東口新公益施設費	1,849万円
	市のお金	4億2,851万円		その他	1億3,309万円

多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができ、また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいることを目指します

主な事業

◆横手駅東口新公益施設整備事業(1,516万円)

横手図書館が移転し、令和6年度春にオープンを予定している横手駅東口新公益施設「Ao-na(あおな)」の円滑なスタートが切れる運営体制、設備等を整えます。

◆横手図書館費(9,625万円)

横手図書館の横手駅東口新公益施設内への移転に向け、図書や備品の購入、図書のICタグ化、図書の引っ越しなどを行います。
※現在の横手図書館は令和5年10月1日に閉館予定です。

◆増田まんが美術館費(1億2,084万円)

横手市増田まんが美術館を中心に、マンガを活用したまちづくり事業を展開します。



マガジンHPはこちら
または「横手市 ミラマガ」で検索



横手市ミライの漫画家発掘マガジン

01 ピックアップ

横手駅東口新公益施設整備事業

令和6年度春、「人と人が『つどい、つながる』交流拠点」をコンセプトに、横手駅東口に新公益施設「Ao-na(あおな)」がオープンします。

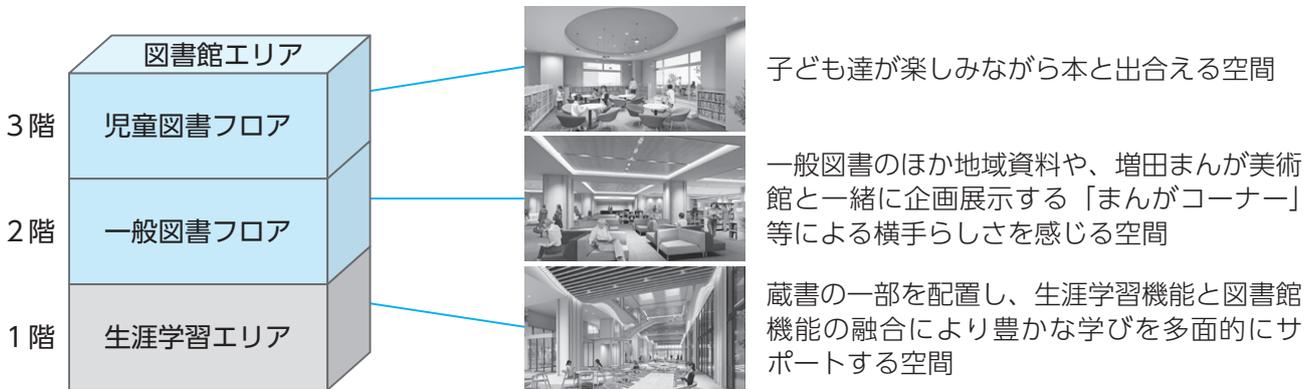
1階は「生涯学習エリア」。ダンスや軽運動、講演会や映画の上映会などに使用可能で、市民の皆様の様々な活動をサポートするエリアとなります。

2階・3階は「図書館エリア」。館内すべての本にICタグを貼り付け、機械による貸出・返却の自動化や、スタッフによるレファレンス(調べもののお手伝い)対応の充実等、図書館サービスの向上を図ります。

「Ao-na」が広く皆様に愛され、親しまれる施設となるよう引き続き準備を進めてまいります。



施設の外観イメージ図



2-5 よこての伝統文化の継承と再発見

事業費 1億5,611万円

財源	国のお金	3,409万円	施策実現のための	埋蔵文化財発掘調査事業	5,325万円
	県のお金	4,002万円		重要伝統的建造物群保存事業	4,465万円
	市の借金			資料館費	2,363万円
	その他	56万円		文化財保護総務費	1,415万円
	市のお金	8,144万円		その他	2,043万円

市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしていることを目指します

主な事業

◆重要伝統的建造物群保存事業(4,465万円)

保存地区において、伝統的建造物等の修理・修景事業を実施します。また、保存団体や伝統的建造物公開活用への支援のほか、町並み継承のための相談会や講習会を実施します。
令和5年度は、重伝建選定から10周年となり、記念事業を実施します。

◆歴史的風致維持向上計画推進事業(942万円)

歴史文化を活かしたまちづくりを推進するため、音声ARガイド導入や『Pokémon GO』と連携した横手城下エリアのまちなか回遊を促進します。また、雄平フルーツライン沿いに果樹園景観を紹介する視点を設けます。



横手城代「とむらくん」

3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 事業費 2億1,052万円

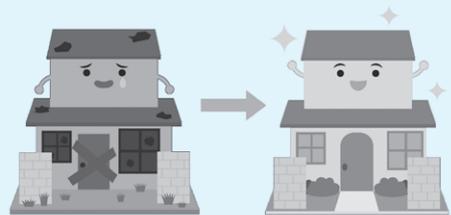
財源	国のお金	7,637万円	施策実現のための費用	特定空家等対策事業	1億5,632万円
	県のお金	19万円		交通安全対策事業	2,114万円
	市の借金	6,770万円		交通安全施設整備費	1,897万円
	その他	31万円		市民相談事業	876万円
	市のお金	6,595万円		その他	533万円

事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送り、必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができることを目指します

主な事業

◆特定空家等対策事業(1億5,632万円)

空家等の予防管理、適正管理、利活用を推進するため、家財道具の片付けや改修等の支援を行います。また、保安上危険な空き家や周囲に悪影響を及ぼす空き家のほか、将来的に周囲に被害を及ぼすおそれがある空き家についても対策を拡充して実施します。



3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全 事業費 9億8,707万円

財源	国のお金	1,626万円	施策実現のための費用	衛生センター費	2億2,802万円
	県のお金	3,663万円		斎場施設整備事業	5億8,501万円
	市の借金	6億3,170万円		斎場施設費	7,332万円
	その他	2,936万円		水と緑の森づくり事業	2,477万円
	市のお金	2億7,312万円		その他	7,595万円

水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息し、まちの美観は損なわれることなく、豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できることを目指します

主な事業

◆西部斎場整備事業(5億8,501万円)

令和6年春に供用開始を予定している新西部斎場の改築工事及び既存斎場解体設計業務委託を実施します。

◆鳥獣被害対策実施隊員確保事業(144万円)

有害鳥獣捕獲業務の担い手を育成し確保するため、狩猟免許やわな猟免許の新規取得、散弾銃等購入に係る経費について支援します。



3-3 災害に強いまちづくりの推進

事業費 6億5,350万円

財源	国のお金	3,384万円	施策実現のための事業費	常備消防施設等整備事業	1億7,099万円
	県のお金	2万円		非常備消防経費	1億3,769万円
	市の借金	2億5,640万円		常備消防経費	1億4,101万円
	その他	367万円		消防施設整備事業	1億2,646万円
	市のお金	3億5,957万円		その他	7,734万円

消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいることを目指します

主な事業

◆常備消防経費(1億4,101万円)

消防業務を円滑に推進できる体制確保のため、消防車両、資機材並びに各施設の適切な保守管理と装備品の貸与を行うとともに、消防学校等における研修や救急救命士の養成等を通じて、組織の充実と活性化を図ります。

◆常備消防施設等整備事業(1億7,099万円)

119番通報の受付から出動指令、災害現場との情報共有などを迅速、的確に行う消防指令システム、消防救急デジタル無線システムの更新など消防施設の整備を行い、消防力の充実強化を図ります。

◆消防施設整備事業(1億2,646万円)

災害時の被害を最小化するため、消防水利の設置、消防団の小型ポンプ、軽積載車等を配備し、市民の生命や財産を保護します。



更新予定の高機能消防指令センター

3-4 循環型社会の一層の推進

事業費 13億7,231万円

財源	国のお金	7,287万円	施策実現のための事業費	クリーンプラザよこて費	4億7,274万円
	県のお金			ごみ収集費	4億 515万円
	市の借金	1億3,060万円		地域資源循環施設費	5,514万円
	その他	3億 701万円		最終処分場管理運営費	6,446万円
	市のお金	8億6,183万円		その他	3億7,482万円

市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現していることを目指します

主な事業

◆ごみ収集費(4億515万円)

家庭からごみ集積所に出されたごみの収集経費や指定ごみ袋作製・販売・配送等に関する経費です。

◆ペットボトル等処理センター整備事業(2億5,116万円)

ペットボトル等処理センターを移転し新築します。現在の施設を解体し、新施設的设计や工事を行います。

